

森東っ子日記

9/7

分散登校のため、学級全員が一堂に顔を合わせることはかなわないまま、2学期が始まりました。休み時間にさまざまな学年が外で遊んでいる光景も、密を避けるため、しばらくは見るできません。

そんな中、校長室からは、1時間ごとに軽快な音楽が聞こえてくるようになりました。

8時・9時・10時…。
分針が12をさすと、「りん、りん」とベルを鳴らす音が響き、人形が出てきます。人形たちは、音楽に合わせて、くるくとバルコニーをまわります。



創立 20 周年記念に PTA からいただいた からくり時計

地域の山科さん（第 14 代・第 17 代 PTA 会長）が息子さんと一緒に直してくださいました。今から 25 年も前から、森東小学校の子どもたちを見守ってきた時計です。「大きなのっぽの古時計」のように、嬉しいことも悲しいことも、みんな知っているのでしょうか。

コロナ禍で、つらいニュースが多いですが、時は確実に流れていきます。出口のないトンネルはありません。からくり時計の音楽がなるたびに、「よし、もうひとふんばり。」と励まされるように感じています。